



令和3年10月4日  
中部地方整備局  
清水港湾事務所

## 大規模災害の発生に備え、海からの支援体制を強化します

～ 港湾業務艇<sup>※</sup>による TEC-FORCE(国土交通省緊急災害対策派遣隊)の  
派遣訓練及び港内調査訓練を実施 ～

南海トラフ地震や大型台風等の大規模災害発生時に、陸路による支援が困難となる場合に備え、海からの支援体制を強化するため、清水港湾事務所の港湾業務艇による TEC-FORCE(国土交通省緊急災害対策派遣隊)の派遣訓練を、国土交通省関係機関及び静岡県との連携により実施します。

(今回は、伊豆半島南部への陸路での移動が困難となる場合を想定した訓練)

併せて、災害時に港湾内の障害物等を確認し早期の機能回復を図るための訓練として、港湾業務艇に設置したナローマルチビームソナー(海底測量機器)により、松崎港内で海底の状況調査を実施します。

(松崎港におけるナローマルチビームソナー訓練は初めての実施)

※港湾業務艇：港湾の工事監督や施設点検で使用する船

### 記

1. 日時 令和3年10月5日(火) 8時30分～16時00分
2. 参加機関及び主な実施内容
  - (1) 清水港湾事務所、静岡県
    - ・伊豆半島への TEC-FORCE(国土交通省緊急災害対策派遣隊)の派遣
    - ・港湾業務艇のナローマルチビームソナー(海底測量機器)による、松崎港内の海底障害物確認訓練
    - ・ドローンによる、松崎港の被災状況確認訓練
    - ・港湾業務艇により、災害時における宇久須港、土肥港の活用可能性について現地調査を実施(着岸可能施設の調査等)
  - (2) 沼津河川国道事務所、静岡営繕事務所
    - ・伊豆半島への TEC-FORCE(国土交通省緊急災害対策派遣隊)の派遣
    - ・海上等からの衛星通信による被災状況伝達訓練
3. 港湾業務艇訓練ルート(詳細は別紙参照)  
①清水港 → ②沼津港 → ③松崎港 → ④宇久須港 → ⑤土肥港 → ⑥清水港
4. 配布先  
中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、静岡県政記者クラブ、静岡市政記者室、港湾空港タイムス、港湾新聞社、日本海事新聞社、海事プレス、マリタイムデーリーニュース
5. 問合せ先  
国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所  
総務課 都田(みやこだ) Tel 054-352-4146

